

現代社会学科

学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

現代社会学科では、社会学、経済学、文化人類学、歴史学などの社会諸科学の理論と方法を学習することを通して、現代社会を多角的に見つめ考える力を教育する。グローバル化や各種メディアの浸透によって変化の著しい現代社会において、個人、家族、ジェンダーから、地域、民族、国家などの広い領域に至る社会問題や社会現象を総合的な視点からとらえ、的確なデータに基づいて考察できる人間の育成を目的とする。

- DP1 社会学、歴史学、経済学、人類学等の専門諸科学の理論や方法に関する幅広い知識を身につけることができる。【大学 DP1・DP2】
- DP2 グローバルに広がる多様な地域社会や地域文化を、多角的な視点から掘り下げ、相対的に分析することができる。【大学 DP3・DP4】
- DP3 現代社会における多様な文化現象や社会問題を、社会科学的な視点から客観的に分析することができる。【大学 DP3・DP4】
- DP4 社会科学的に適切な問題意識から、多様な社会現象を自らの視点をもって、論文やレポートにまとめ、論じることができる。【大学 DP1・DP2・DP5】
- DP5 社会調査にかかわるデータを収集・整理・分析する能力を修得し、社会の問題・現象を実証的に分析することができる。【大学 DP2・DP3・DP4】
- DP6 現代社会の広がりに対する感覚と認識を身に付け、そこで表れる諸問題に強い関心を持ち、それを解決しようとする高い意欲と倫理的態度を持つことができる。【大学 DP5】
- DP7 現代社会の構造を知るため、そのなかに自己を位置づけ対象化する能力を持ち、社会と自己の関係を表現する力を備え、それによって様々なバックグラウンドを持つ他者と討議交流することができる。【大学 DP3・DP5】

DP8 日本語および外国語を運用する能力を持ち、文献・資料の背景にある社会的・歴史的な文脈を理解したうえで的確かつ批判的に解読し、また広く社会に発信することができる。【大学 DP3・DP4・DP5】